

## 【北広島町の現状】

### ○人口の状況

合併時20,000人を超える水準にあった北広島町の人口は、総合戦略において2040年に14,981人を目指すことを目標にしています。年齢構成別人口では、生産年齢人口が▲4.7ポイント減少する一方で、老年人口は3.8ポイント増加することが展望されます。

### ○財政の状況

自主財源の比率を表す指数である財政力指数は、現状0.34を維持していますが、生産年齢人口の減少に伴い、自主財源の確保はより一層厳しくなるものと予測されます。また、高齢化社会の進展により、社会保障費の増加が見込まれます。

### ○公共施設等の現状

本町の公共施設のほとんどは旧町時代に当時の必要性により整備されましたが、人口減少により、一人当たり延床面積は10.7㎡と人口10～30千人規模団体の全国平均値と比較すると、2倍以上の量を保有しています。

## 【公共施設等総合管理計画について】

### ○計画の目的・位置付け

この計画は、国のインフラ長寿命化基本計画における本町の行動計画として策定するもので、「北広島町長期総合計画」や他の関連する計画との整合を図り、公共施設等の基本的な取組を示す全体計画と位置付け、公共施設等に係る財政負担の軽減と平準化を図った上で適切な管理を行っていくことを目的とするものです。

### ○計画期間

平成28(2016)年度から平成52(2040)年度までの25年間とします。

## 【公共施設等の将来更新費用の推計】

一般財団法人地域総合整備財団が開発した「公共施設更新費用試算ソフト」などにより、基本設定された条件で施設の保全・更新を行うと仮定し、将来更新費用を推計したところ次のとおりとなります。

### ○公共施設

今後40年間で522.3億円、年平均すると13.1億円が必要。これは過去7年間に公共施設整備に投じた投資的経費の年平均10.7億円と比べ2.4億円超過

### ○インフラ資産

今後40年間で1,120.3億円、年平均すると28.0億円が必要。これは過去7年間にインフラ資産に投じた投資的経費の年平均5.6億円と比べ22.4億円超過

(単位:億円)

|        | 過去7年間投資的経費<br>単年平均 | 将来更新費用(40年間) |                |         |
|--------|--------------------|--------------|----------------|---------|
|        |                    | 単年平均         | 差引超過<br>(財源不足) | 累計      |
| 公共施設   | 10.7               | 13.1         | ▲ 2.4          | 522.3   |
| インフラ資産 | 5.6                | 28.0         | ▲ 22.4         | 1,120.3 |

## 【公共施設における取組】

公共施設の更新について、今後40年間で522億円(年平均13億円)の費用がかかることと推計されています。財政運営が可能な水準に施設総量を削減すると、次の2パターンが目標となります。

- パターン1 ▲50%削減: 保有する施設を全て推計条件で保全・更新していく
- パターン2 ▲30%削減: 使用に耐えられる限り保全のみを行い、更新は行わない

### ○取組内容

- ① 施設情報の一元化: 将来に渡り保有する施設の保全情報をデータベース化
- ② 保有総量の最適化: 複合化・規模の縮小・配置の見直し・売却など
- ③ 保有施設の有効活用: 未利用部分の有効活用・用途変更など
- ④ 施設の長寿命化: 建築から除却までのトータルコストの削減
- ⑤ 維持管理費の効率化: 光熱水費などの維持管理経費の削減

## 【インフラ資産における取組】

インフラ資産は、町民生活に密接しており、公共施設に比べ統廃合や複合化といった対応が困難であり、経費縮減余地は極めて少ない資産です。

既に長寿命化などの計画を策定している施設については、当面の間これらの計画や方針により対策を講じていきます。長寿命化計画が未策定のものについては、財政運営が可能な範囲の計画を策定していきます。策定の予定がないものは、本計画の方針を踏まえた検討を進めていきます。

### ○取組を進めるに当たり検討が必要な事項

- ① 地域の特性や本町の財政状況を考慮した、計画的な保全・更新の実施
- ② 施設情報のデータベース化と、中長期的な視点からの取組の実施
- ③ ライフサイクルコストを考慮した、効率的な長寿命化対策
- ④ 安全性・経済性・メンテナンスビリティ等、必要な機能の確保
- ⑤ 新技術・新制度を積極的に取り入れるとともに、PPPなど民間活力導入の検討

## 【推進体制・フォローアップ】

### ○推進体制

現状では、各課ごとにファシリティマネジメント・長寿命化対策が進められていますが、将来的には、全庁一体としたマネジメントの実施により、財政負担の軽減と年度ごとの平準化を行っていく必要があります。ファシリティマネジメントを推進していく庁内横断的な組織を設置し、施設の統廃合や長寿命化などの総合調整を行っていきます。

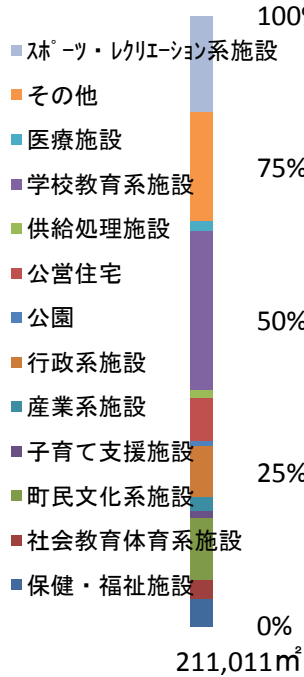
### ○フォローアップ

現段階では、施設によって、長寿命化や将来の維持・更新の考え方が整理されていないものもあることから、今後個別施設毎の状況を分析・評価し、計画策定を行っていきます。

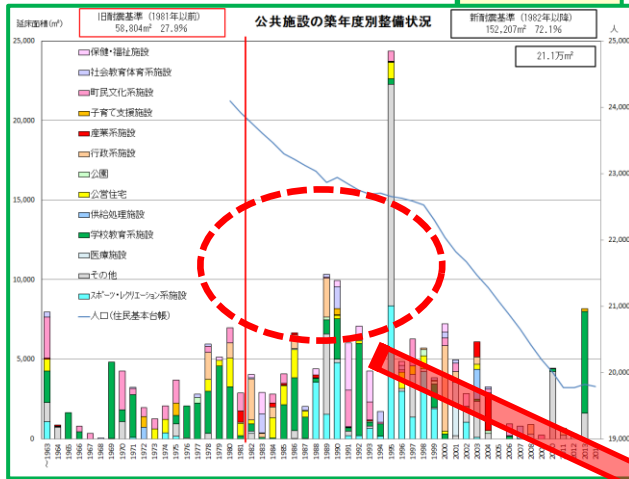
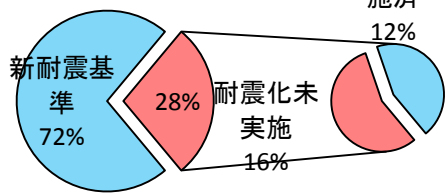
# 北広島町公共施設等総合管理計画(基本方針)参考資料

## 【公共施設の状況】

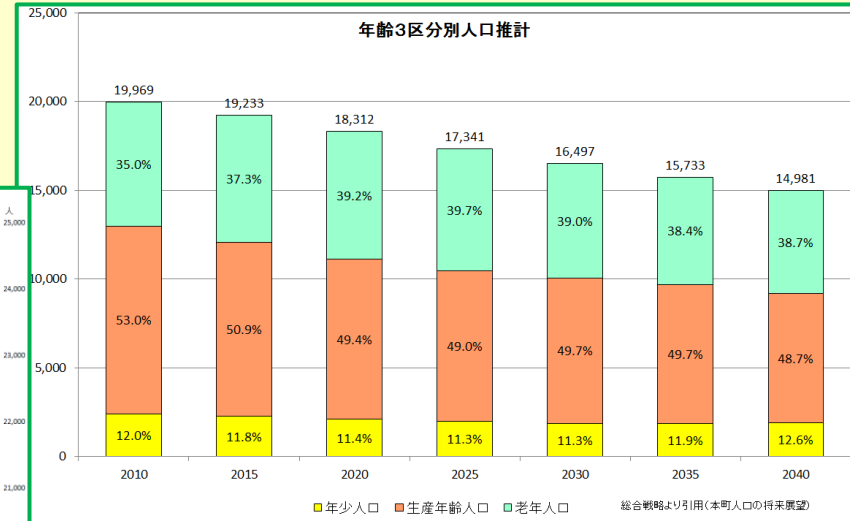
### ■分類別延床面積割合



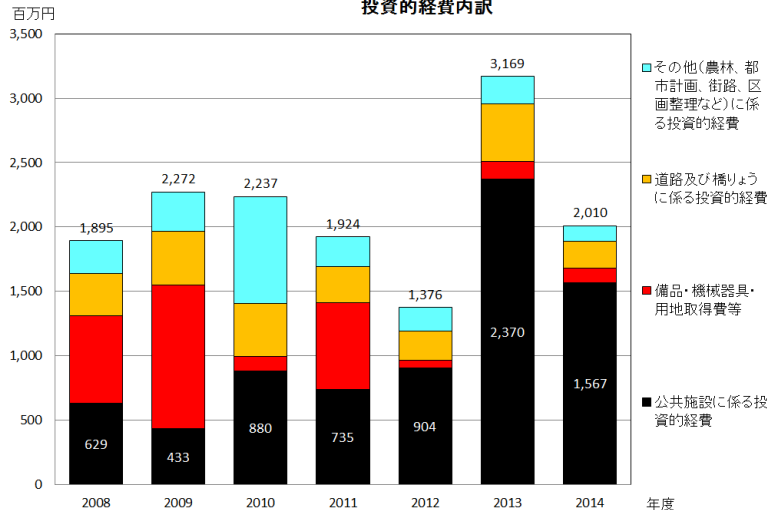
### ■耐震化の状況



## ■人口の将来展望(総合戦略より数値引用)



### 投資的経費内訳



## ■公共施設の将来の更新費用の推計

